

# Panasonic®

## 取扱説明書

### オールインワンヘッドセット

業務用

品番 WX-CH458



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6~8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



PUQX1069ZA

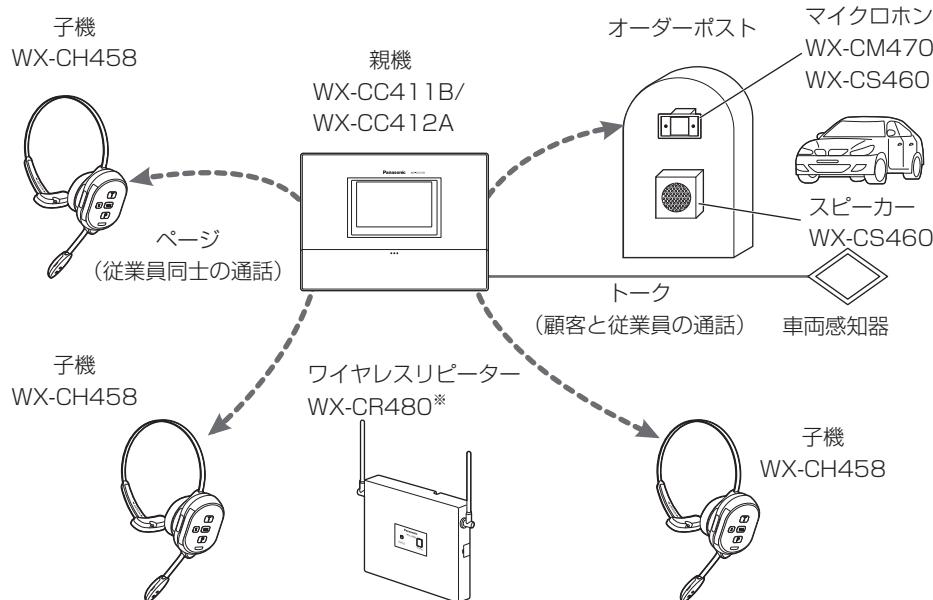
## ■ 商品概要

オールインワンヘッドセットWX-CH458（以下本機）はファストフード店のドライブスルーシステム用に設計された、無線通信システムの子機です。本機は、アンテナ、送信機、受信機を内蔵したヘッドセットで、本機を装着することで他の子機を持つ従業員やオーダーポストにいる顧客との通話ができます。

- 本機は、センターモジュール（WX-CC411B, WX-CC412A, WX-CC411A [生産完了品] WX-CC411 [生産完了品]、WX-CC412 [生産完了品]）専用の子機です。
- 本機は、種類の異なるオールインワンヘッドセット（WX-CH457 [生産完了品]、WX-CH455 [生産完了品]）が使用されているセンターモジュールでも使用できます。
- 本機では、1.9 GHz帯DECT\*準拠方式を採用しているので、2.4 GHz以上を使用する電子レンジや無線LANからの干渉を受けません。
- ※ デジタルコードレス電話の通信規格（Digital Enhanced Cordless Telecommunicationsの略）
- 本機をセンターモジュール（WX-CC411B）に登録して使用する場合、オーダーポストの顧客との通話、およびオールインワンヘッドセット間の通話の音声は、ワイドバンド音声（100Hz～7kHz）にすることができますので、会話が聞き取りやすくなります。\*
- マネージャーモード  
センターモジュールの各レーンにつき子機1台をマネージャーモードとして登録することができます。マネージャーモードに設定された子機は、通話の優先権を持ちます。
- 顧客の車がオーダーポストに到着すると子機が自動的にトーク状態になり、顧客の車がオーダーポストから離れると子機が自動的に通話を終了します。（オートトークロックモード設定時）
- デュアルレーンシステムでの運用の場合、レーンを切り替えて運用することができます。（WX-CC412Aの場合のみ）
- トークロック、プレス トウ トークのモード選択ができます。
- ページロック、プレス トウ ページのモード選択ができます。
- 本機からの操作によりセンターモジュールを通して外部にメール通知等をすることができます。
- ※ 本機をセンターモジュールWX-CC412A、WX-CC411A [生産完了品]、WX-CC411 [生産完了品]、WX-CC412 [生産完了品]に登録する場合もしくは本機を「Narrowband」設定のセンターモジュールWX-CC411Bに登録する場合は、ナローバンド音声（300 Hz～3.4 kHz）で動作します。  
センターモジュールの設定はセンターモジュールの取扱説明書をお読みください。
- ※ ワイドバンド音声で使用する場合、オーダーポストのマイクロホンはWX-CM470を使用してください。

## ■ システムイメージ図

本機は、親機であるセンター モジュールと無線接続することで、子機同士、またはオーダー ポストにいる顧客との通話ができます。



## ■ 付属品をご確認ください

保証書 ..... 1式 カラーラベル (赤、青、黄、緑) ..... 各2個  
取扱説明書 (本書) ..... 1冊

## ■ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

## ■ 電波について

- 本機は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する、デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。

(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。J-DECT のロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

### ● 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機から充電池を取り外して、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、システムお客様ご相談センター（裏表紙）へお問い合わせください。

**J-DECT**

## ■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- オールインワンヘッドセット (WX-CH458) を本機または子機と表記しています。
- センターモジュール (WX-CC411B、WX-CC411A、WX-CC412A：別売品) をセンターモジュールと表記しています。
- 単3形ニッケル水素電池を充電池と表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2025年3月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## ■ 著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

# もくじ

## はじめに

はじめに	2
商品概要	2
システムイメージ図	3
付属品をご確認ください	3
免責について	3
電波について	4
略称について	4
著作権について	4
安全上のご注意	6
取り扱い上のお願い	9
機器上に表示される図記号	10
各部の名前とはたらき	11

## 基本操作

充電池を入れる	14
カラーラベルの貼り付け	16
使いかた	17
電源を入れる	17
装着する	17
音量調節	18
顧客との通話（トーク）	19
他の従業員との通話（ページ）	20
アラート通知	21
デュアルレーン運用 (WX-CC412Aの場合のみ)	22
通話制限	23
通信圏外	23
充電池	23
電源を切る	23
充電池の交換	24

## 設定

設定	26
ID登録	26
マネージャーモード設定	27
マネージャーモード解除	28
オートトーコロック設定	30
親機サーチ	32
設定モード	33
設定モード起動	33
トークボタン設定（1回点滅）	34
ページボタン設定（2回連続点滅）	35
ボイスプロンプト設定（3回連続点滅）	35
クイックレーン切り替え設定 (4回連続点滅)	35
初期化（6回連続点滅）	36
マイクゲイン設定（8回連続点滅）	36
トークバック設定（9回連続点滅）	36

## その他

お手入れ	37
故障かな!?	39
仕様	41
ビープ音一覧	42
保証とアフターサービス	43

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



## 危険



### ニッケル水素電池の充電には、専用充電器を使用してください

専用以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。



充電池にクギを刺したり、衝撃を与えたる、分解・改造をしない  
発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止

### 単3形ニッケル水素電池以外の電池を使わない

単3アルカリ乾電池を使用すると、電池残量表示が正しく表示されないことがあります。

単3形ニッケル水素電池・単3形アルカリ乾電池以外の電池を使用すると、破裂や液もれにより、火災やケガ、周囲の汚染の原因となります。

電池を分解、加工（はんだ付けなど）、過圧、過熱、火中投入しない

電池の端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

# 安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに



禁止



## 危険

### ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水ですぐ洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

### 充電池を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない

発熱・発火・破裂の原因となります。

### 本機を電子レンジに入れないでください。

発火や火災の危険があります。



禁止



## 警告

### 医療機器に近づけない

#### (手術室、集中治療室、CCU等には持ち込まない)

本機からの電波が医療機器に影響をおよぼすことがあります、誤動作による事故の原因となります。

### カラーラベルは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### 異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

直ちに使用をやめ、販売店に連絡してください。

### 乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

### 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故の原因となります。



分解禁止

### 分解・改造しない

火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 指定のカバー以外は外さない

火災や感電の原因となります。

点検・整備・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください



## 航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

## 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

## 水滴または水沫のかからない状態で使用する

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。直ちに使用をやめ、販売店に連絡してください。

## 付属品・オプション品は、指定の製品を使用する

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

## 持ち運ぶときはコード類をすべて抜く

コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。



# 注意



## お手入れのときは充電池を取り出す

感電の原因となります。

## 電池は極性（プラス+とマイナス-）を正しく入れる

間違えると、電池の破裂や液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

## 電池は、単3形ニッケル水素電池と交換する

単3アルカリ乾電池に交換すると、電池残量表示が正しく表示されないことがあります。

単3形ニッケル水素電池・単3形アルカリ乾電池以外の電池に交換すると、破裂や液もれにより、火災やケガ、周囲の汚染の原因となります。

## 長時間使わないときは、機器から電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

## 廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。



## 湿気やほこりの多い場所で使用しない

けがの原因となります。

禁止

## ニカド電池は使わない

万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

# 取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## 本機は業務用機器です

## 本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

- 丁寧に取り扱ってください。本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。
- 本機は子供が居る可能性がある場所での使用には適していません。

## 電池について

- 本機に入れた電池は、電源を切った状態でもわずかに消費されています。そのまま放置すると液もれする可能性がありますので、使用しないときは電池を取り出してください。
- 電池は、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面などの高温になる場所で使用、放置しないでください。
- 電池の電極や電池カバー内の端子は汚れた手で触れないでください。接触不良やノイズの原因になります。汚れたときは乾いた柔らかい布などでよく磨いてください。
- 劣化した電池、内部短絡した電池を使用しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂の原因となります。

## 充電池のリサイクルについて

- 不要になった充電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池のリサイクルにご協力ください。



## 埋込み型医用機器を使用されている場合

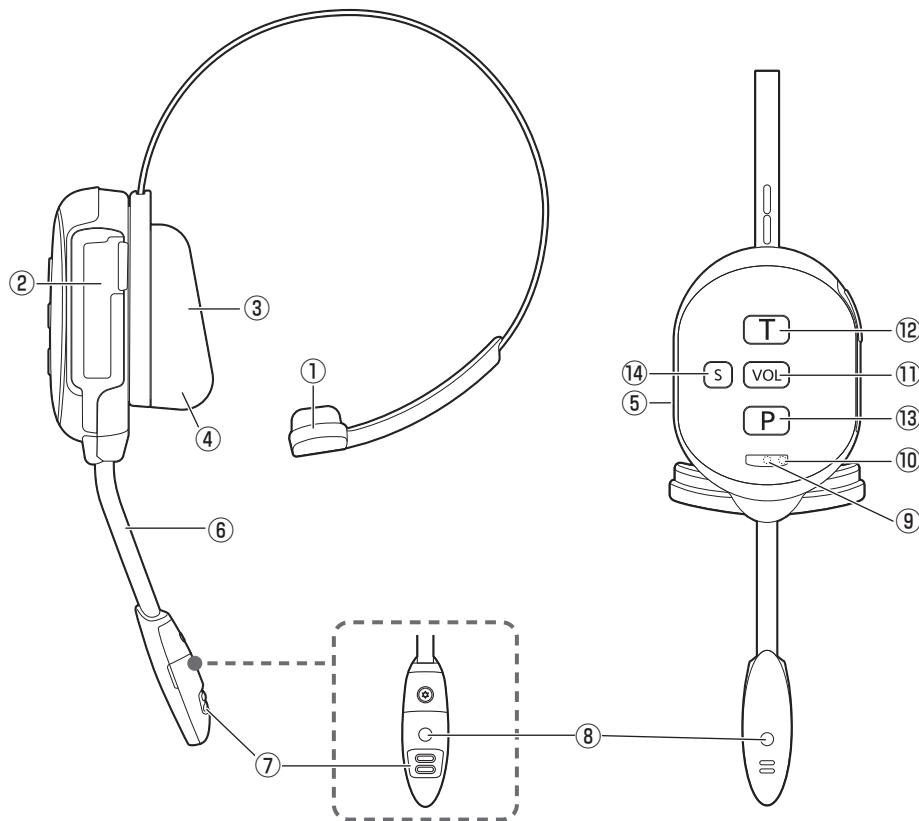
- 本機を使用しないでください。医療用機器が誤動作を起こす可能性があります。

# 機器上に表示される図記号

機器上に表示されている図記号の説明は下表のとおりです。

図	説明
	電池の配置

# 各部の名前とはたらき



## ①ヘッドパッド

ヘッドパッド側をスライドさせて、サイズを調節できます。

## ②電池カバー

電池収納部のカバーです。外すと充電池の交換ができます。

## ③イヤホン

音声が出力されます。

## ④イヤーパッド

耳に当てます。

## ⑤USBコネクターカバー

保守専用のUSBコネクターが格納されています。USBコネクターにUSBケーブルを接続しても、本機に装着した充電池を充電することはできません。

# 各部の名前とはたらき

## ⑥マイクブーム

ブームを回転させて、口元に近い位置に調節します。また、回転させることにより電源の入／切ができます。

## ⑦マイク

音声を収音します。

## ⑧レーン表示灯

本表示灯により本機が接続しているレーンを表します。

**橙点灯**：レーンAに接続中

**緑点灯**：レーンBに接続中 (WX-CC412Aの場合のみ)

**橙点滅**：レーンAで通話中

**緑点滅**：レーンBで通話中 (WX-CC412Aの場合のみ)

## ⑨電源表示灯

本表示灯により本機の状態を以下のように表します。

**緑点灯**：電源「入」の状態です。

本機には電源スイッチはありません。マイクブームの回転で電源を入／切します。

**緑点滅**：マネージャーモード設定で、電源「入」の状態です。

**赤点灯**：充電池残量がありません。充電済み充電池と交換してください。

**赤点滅**：エラーが発生しています。

**橙点滅**：ID登録中で電源「入」の状態です。

## ⑩設定表示灯

設定時のみ点灯し、設定状態を表します。

## ⑪音量調節ボタン [VOL]

本機の音量を調節します。

ボタンを押すと音量が大きくなります。ボタンを押すごとに「ピッ」と音量アップを知らせるビープ音が鳴ります。また、音量の上限になると「ピピッ」とビープ音が鳴り、さらにボタンを押すと音量の下限に戻ります。

また、音量レベルは本機の電源を切／入すると、初期状態に戻ります。音量調節については、18ページをお読みください。

**⑫トークボタン [T] **

本ボタンは、顧客との通話を制御します。

本ボタンは本機の設定で動作が変わります。詳しくは「トークボタン設定」(34ページ)をお読みください。

**<トーカロック設定の場合>**

[T] ボタンを1度押すと、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができる、再度 [T] ボタンを押すと、通話を終了します。

**<プレストウトーク (PTT) 設定の場合>**

[T] ボタンを押している間、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

**⑬ページボタン [P] **

本ボタンは、従業員同士の通話を制御します。

本ボタンは本機の設定で動作が変わります。詳しくは「ページボタン設定」(35ページ)をお読みください。

**<ページロックモードの場合>**

[P] ボタンを1度押すと、接続しているレーンの従業員と通話ができる、再度 [P] ボタンを押すと、通話を終了します。

**<プレストウページモード (PTP) の場合>**

[P] ボタンを押している間、接続しているレーンの従業員と通話ができます。

**⑭シフトボタン [S] **

本ボタンを押す、または本ボタンと他のボタンを同時に押すことで以下の機能が使用できます。

- レーン切り替え (22ページ)
- アラート通知 (21ページ)
- マネージャーモードの設定／解除 (27～29ページ)
- オートトーカロックの設定 (30、31ページ)
- 設定モードの起動やその設定 (33～36ページ)

また、本機の設定で「クイックレーン切り替え設定」を有効にしていた場合、本ボタンを1度押すことでレーンの切り替えとトーカーの開始を同時に行うことができます。詳しくは「クイックレーン切り替え設定 (4回連続点滅)」(35ページ)をお読みください。

# 充電池を入れる

「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。

本体の電源が「切」の状態で電池を入れてください（23ページ）。

充電池を交換する場合は、「充電池の交換」（24ページ）をお読みください。

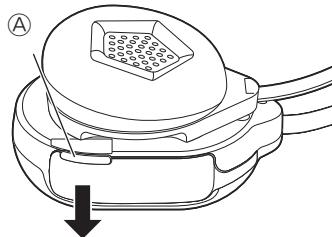
単3形ニッケル水素電池は製品に付属していません。市販品を準備してください。

## メモ

- 電池の電極は手で触れないでください。接触不良やノイズの原因になります。汚れたときは乾いた柔らかい布などでよく磨いてください。

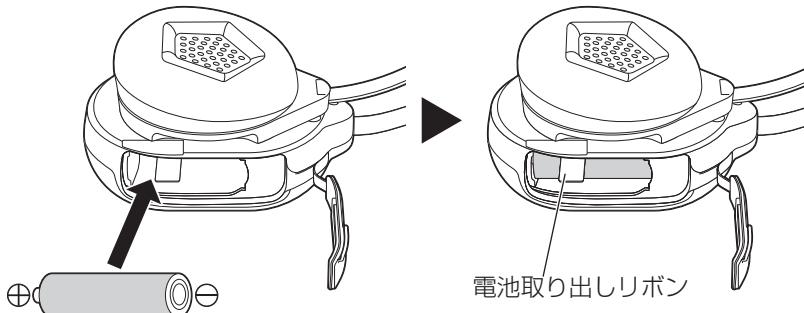
## 1 電池カバーを開く

電池カバーのⒶ部に指をかけ、矢印の方向にひいて開きます。



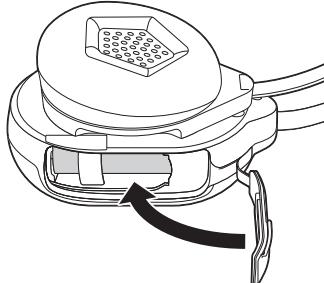
## 2 電池を入れる

電池の極性（プラス $+$ 、マイナス $-$ ）を確認し、充電済みの単3形ニッケル水素電池1本を電池スロット内部の極性表示（ $+$ 、 $-$ ）に従って入れます。電池取り出しリボンがイヤーパッド側にくるように電池を入れてください。



### 3 電池カバーを閉める

電池カバーを矢印の方向に押して、元どおりに閉めます。電池取り出しリボンをカバーで挟み込まないよう、リボンを電池収納部に収めてカバーを閉めてください。その際、電池カバーが動かなくなるまでしっかりと押し込んでください。



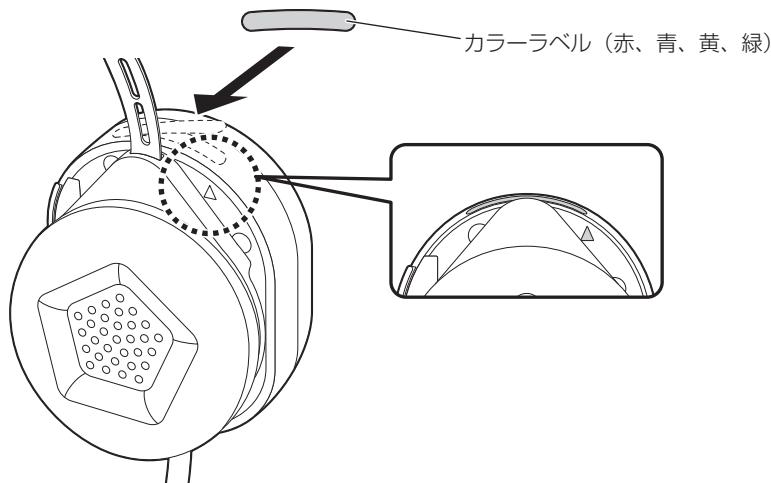
#### メモ

- 電池によっては、電池動作時間が短くなることがあります。
- 単3形ニッケル水素電池を使用してください。アルカリ乾電池でも動作は可能ですが、電池動作時間が短くなったり、電源表示灯が緑点灯する期間が短く、赤点灯する期間が長くなったりする場合があります。

# カラーラベルの貼り付け

カラーラベルを貼り付けて、本機の色分けをすることができます。

下図のようにカラーラベル（付属品）の端を三角形のマークに合わせて貼り付けてください。



## メモ

- カラーラベルは指定された位置に貼り付けてください。指定された位置以外に貼り付けた場合、カラーラベルがはがれる恐れがあります。
- カラーラベルを貼り付ける際は、浮き・めくれのないよう貼り付けてください。

# 使いかた

あらかじめ、本機、センターモジュール、オーダーポストなど、システムの各種設定が完了していることを確認してください。

## ■ 電源を入れる

### 1 本機に充電池を挿入し、マイクブームを回転させて電源を入れます。

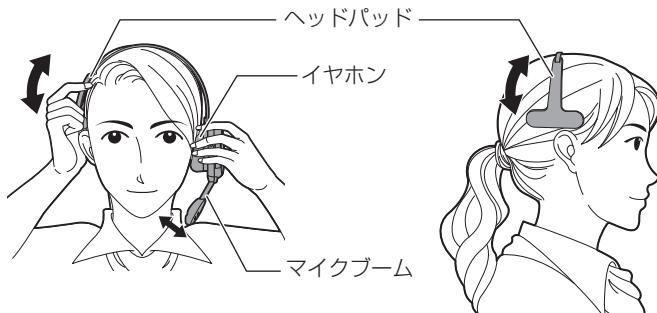
- 電源が起動すると、イヤホンから「Hello」「Headset\*\*」(\* \*はセンターモジュールに登録されたID番号)「Lane (レーン) ○」(○は接続しているレーン名)と音声が聞こえできます。

## ■ 装着する

### 1 本機を装着します。

イヤーパッド側を耳に当てて頭に装着してください。

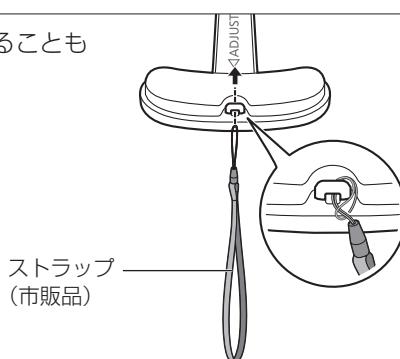
ヘッドパッド側は長さ調節が可能です。



マイクブームを回転させ、マイクブーム先端が口元に近づくように調節してください。

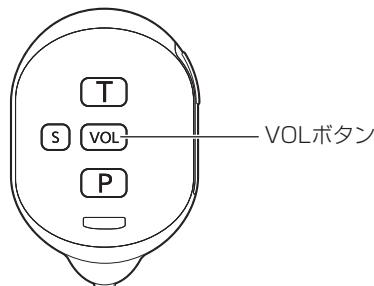
#### メモ

- 本機にストラップ(市販品)を取り付けることも可能です。

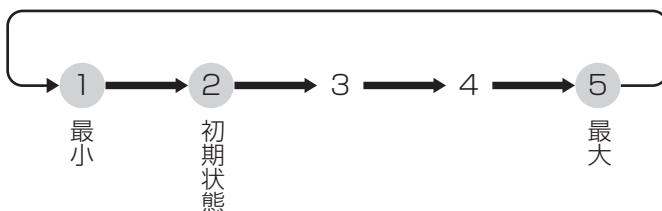


## ■ 音量調節

[VOL] ボタンを押してイヤホンからの音量を適切なレベルに調節します。



音量レベルは5段階で調節でき、[VOL] ボタンを押すたびに音量が上がり、最大音量を超えると最小音量になります。



### メモ

- [VOL] ボタンを押したときにイヤホンから確認音が聞こえます。音量変更時は「ピッ」音、最大音量になった時は「ピピッ」音が鳴ります。
- [VOL] ボタンを押し続けると0.7秒ごとに音量値が変化します。
- 本機の電源を切ると音量設定は初期状態に戻ります。

## ■ 顧客との通話（トーク）

子機を装着している、任意の従業員がオーダーポストに来店している顧客と双方向通話ができます。

- 車がオーダーポストに到着すると、本機のイヤホンより、来客を知らせるビープ音が聞こえます。

### トークロックモード時（出荷時設定）

#### 1 [T] ボタンを押します。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、オーダーポストにいる顧客と通話ができます。

#### 2 再度 [T] ボタンを押します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。

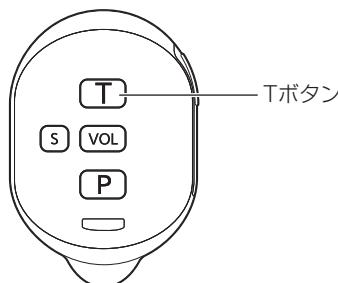
### プレス トウ トーク（PTT）モード時

#### 1 [T] ボタンを押し続けます。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、オーダーポストにいる顧客と通話ができます。

#### 2 [T] ボタンを離します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。



#### メモ

- トークロックモードとプレス トウ トーク（PTT）モードの設定は、設定モードで行います。詳しくは、33、34ページをお読みください。
- トークやページを行っている間は、マイクブームを握らないでください。ハウリングが発生し、オーダーポストなどから異音が outputされます。

# 使いかた

## ■ 他の従業員との通話（ページ）

子機を装着している従業員同士の通話ができます。オーダーポスト側には音声は聞こえません。

ページロックモード時（出荷時設定）

### 1 [P] ボタンを押します。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、他の従業員と通話ができます。

### 2 再度 [P] ボタンを押します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。

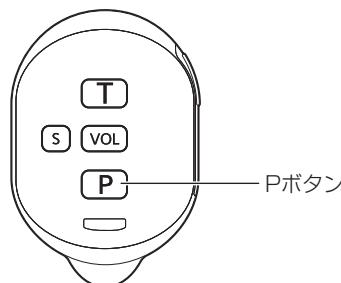
プレス トゥ ページ（PTP）モード時

### 1 [P] ボタンを押し続けます。

- イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、他の従業員と通話ができます。

### 2 [P] ボタンを離します。

- 通信が遮断され、通話が終了します。



### メモ

- ページロックモードとプレス トゥ ページ（PTP）モードの設定は、設定モードで行います。詳しくは、33、35ページをお読みください。
- トークやページを行っている間は、マイクブームを握らないでください。ハウリングが発生し、オーダーポストなどから異音が出力されます。

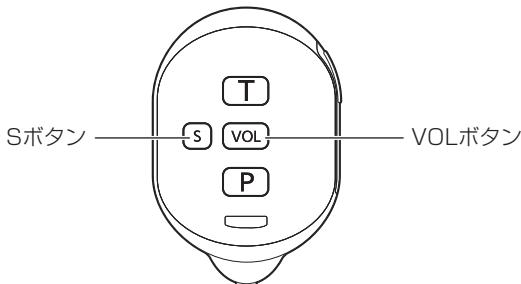
## ■ アラート通知

子機を装着している従業員は、セキュリティアラートをセンターモジュールに通知することができます。

### 1 [S] ボタンを押しながら [VOL] ボタンを押します。

- イヤホンより通知完了を知らせるビープ音が聞こえ、センターモジュールへセキュリティアラートを通知します。

### 2 センターモジュールがセキュリティアラートを受信すると、あらかじめ設定された動作（通話録音、メール通知、アラートメッセージ再生、カメラモニタリングなど）を実行することができます。



# 使いかた

## ■ デュアルレーン運用 (WX-CC412Aの場合のみ)

デュアルレーン運用の場合、本機は通話するレーンを選択する必要があります。

### レーンBへの切り替え

レーンAに接続中の本機は、レーン表示灯が橙色に点灯しています。

#### 1 [S] ボタンをダブルクリックします。

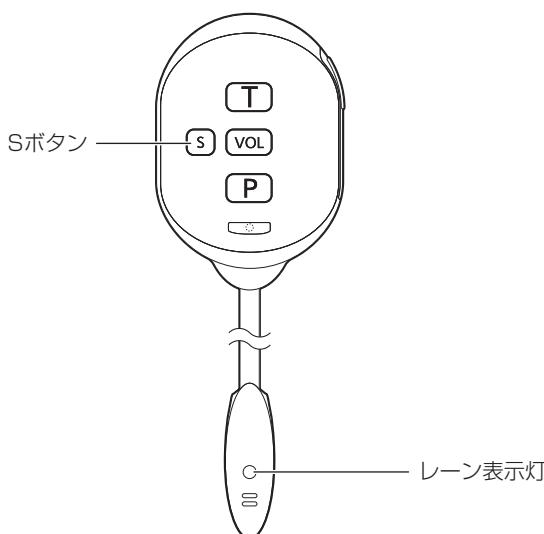
- イヤホンから「Lane (レーン) B」と聞こえ、レーン表示灯が緑色の点灯になり、レーンBへ接続が切り替わります。

### レーンAへの切り替え

レーンBに接続中の本機は、レーン表示灯が緑色に点灯しています。

#### 1 [S] ボタンをダブルクリックします。

- イヤホンから「Lane (レーン) A」と聞こえ、レーン表示灯が橙色の点灯になり、レーンAへ接続が切り替わります。



### メモ

- 本機の設定で「クイックレーン切り替え設定」を有効にしていた場合、[S]ボタンを1度押すことでレーンの切り替えとトークの開始を同時に行うことができます。詳しくは「クイックレーン切り替え設定(4回連続点滅)」(35ページ)をお読みください。

## ■ 通話制限

1レーンあたり、同時に通話できる子機は4台までです。

5台目以降の子機がトークまたはページを実行しようとすると、イヤホンからビープ音と「Cannot Connect」の音声が聞こえ、通話が拒否されます。

ただし、通話を拒否された子機でも、トークまたはページ中の通話内容を聞くことはできます。

## ■ 通信圏外

本機が通信圏外に出ると、イヤホンからビープ音と「Out of Range」の音声が聞こえ、通話が遮断されます。

通信圏内に戻るとビープ音が聞こえて、通話が可能になります。

## ■ 充電池

充電池の残量が少なくなると、イヤホンからビープ音と「Battery Low」の音声が流れ、その後5秒間隔でビープ音が流れます。同時に電源表示灯が赤に点灯します。この状態になつたら、すみやかに、充電済みの充電池と交換してください。

## ■ 電源を切る

下図のように、マイクブームをヘッドバンドの位置に合わせると電源が切れます。

イヤホンより「Goodbye」の音声が聞こえ、電源表示灯が消灯します。



# 充電池の交換

「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。

次のような場合は、充電池の残量が不足しています。充電済みの充電池と交換、または充電池の充電を行ってください。本体の電源が「切」の状態で電池を交換してください。(23ページ)。

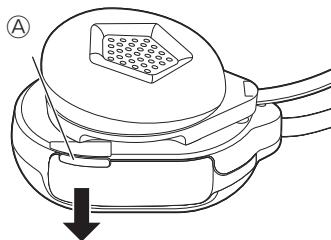
- ・電源表示灯が赤点灯している場合
- ・電源を入にしても電源表示灯が点灯しない場合

## メモ

- 電池の電極は手で触れないでください。接触不良やノイズの原因になります。汚れたときは乾いた柔らかい布などでよく磨いてください。
- 電池を取り出す際は、取り出した電池が落下しないよう注意をしてください。
- 本機に入れた電池は、電源を切った状態でもわずかに消費されています。そのまま放置すると液もれる可能性がありますので、本機を長時間使用しないときは電池を取り出してください。
- ニッケル水素電池の充電には、専用充電器を使用してください。

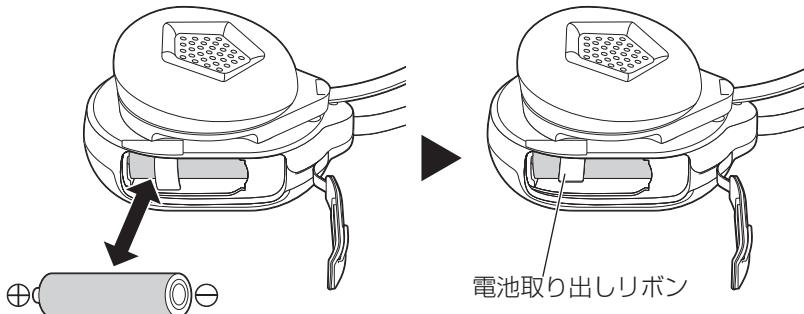
## 1 電池カバーを開く

電池カバーのⒶ部に指をかけ、矢印の方向にひいて開きます。



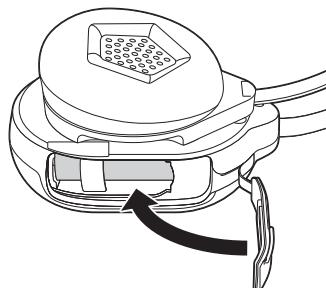
## 2 電池を交換する

使用済み電池を取り出すときは、プラス $\oplus$ 側から先に外してください。電池取り出しリボンを引くと、電池を取り出すことが出来ます。電池を入れるときは、電池の極性（プラス $\oplus$ 、マイナス $\ominus$ ）を確認し、充電済みの単3形ニッケル水素電池1本を電池スロット内部の極性表示（ $\oplus$ 、 $\ominus$ ）に従って入れます。電池取り出しリボンがイヤーパッド側にくるように電池を入れてください。



## 3 電池カバーを閉める

電池カバーを矢印の方向に押して、元どおりに閉めます。電池取り出しリボンをカバーで挟み込まないよう、リボンを電池収納部に収めてカバーを閉めてください。その際、電池カバーが動かなくなるまでしっかりと押し込んでください。



## 4 電源表示灯を確認する

マイクブームを回転させて電源を入れ、電源表示灯が緑色に点灯することを確認します。

### メモ

- 電池によっては、電池動作時間が短くなることがあります。
- 単3形ニッケル水素電池を使用してください。アルカリ乾電池でも動作は可能ですが、電池動作時間が短くなったり、電源表示灯が緑点灯する期間が短く、赤点灯する期間が長くなったりする場合があります。

## ■ ID登録

本機を使用するには、センター モジュールに本機の ID を登録する必要があります。センター モジュールに ID を登録することで、本機とセンター モジュール間の無線通信が可能になります。

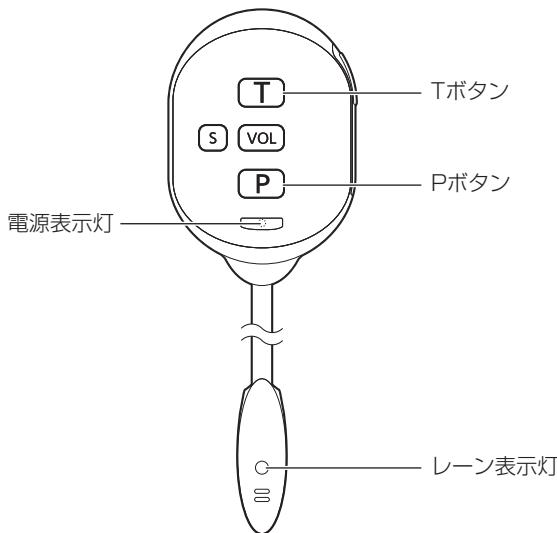
### 1 センター モジュールを「ID登録」モードに設定します。

詳しくは、センター モジュールの取扱説明書をお読みください。

### 2 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

### 3 [T] ボタンと [P] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- イヤホンから「Registration Mode」と音声が聞こえてきて、本機は「ID登録」モードで起動します。このとき電源表示灯は橙色に点滅します。



### 4 [T] ボタンを押します。

- イヤホンから「Connecting Center Module A」と音声が聞こえてきて、レーン表示灯が橙色に点滅します。
- センター モジュール WX-CC412A 設置の場合、自動的にレーン B への ID 登録が開始され、イヤホンから「Connecting Center Module B」と音声が聞こえてきて、レーン表示灯が緑色に点滅します。
- 数秒後に、イヤホンから「Registration Complete」「Headset \*\*」（\*\* は登録した ID 番号）と音声が聞こえ、電源表示灯が点滅から点灯に変わり、これで ID 登録が完了です。

#### メモ

- ID 登録に失敗すると、イヤホンからビープ音と「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅します。この場合は、再度手順 2 からやり直してください。

## 5 ID登録が完了したら、センターモジュールの「ID登録」モードを解除します。

- 本機の「ID登録」モードが解除され、電源表示灯が緑色の点灯に変わります。

### メモ

- センターモジュールが「ID登録」モードの間は子機の通話はできません。

## ■ マネージャーモード設定

マネージャーモードに設定された子機は、通話の優先権を与えられ、常に、トークやページ中の通話に割り込むことができます。

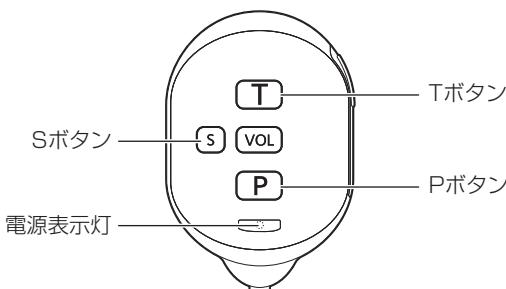
### メモ

- 1台の子機のみマネージャーモード設定ができます。マネージャーモードの設定を行うには、ID登録が終了している必要があります。

### 1マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

### 2 [S] ボタンと [T] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑に交互点灯します。



### 3 電源表示灯が赤と緑の交互点灯している間に通話ボタン（[T] ボタンあるいは [P] ボタン）を押します。

#### レーンAへの設定

- [T] ボタンを押すとレーンAへのマネージャーモード設定を行います。レーン表示灯は橙に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module A」と音声が聞こえきます。

#### レーンBへの設定（WX-CC412Aの場合のみ）

- [P] ボタンを押すとレーンBへのマネージャーモード設定を行います。レーン表示灯は緑に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module B」と音声が聞こえきます。

**4** 数秒後にイヤホンから「Manager」と音声が聞こえたら、マネージャーモードの設定が完了し、電源表示灯が緑に点滅します。

- マネージャーモードの設定に失敗した場合は、イヤホンからビープ音と「Failed」の音声が聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態を知らせます。この場合は、再度手順1からやり直してください。

## メモ

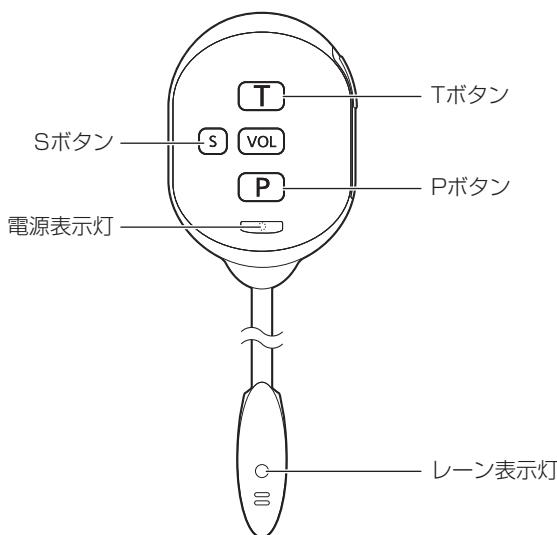
- マネージャーモードの設定は、1 レーンあたり 1 台の子機しか許可されません。2 台目を設定した場合、1 台目の子機は、強制的にマネージャーモードを解除されます。

## ■ マネージャーモード解除

**1** マネージャーモードに設定されている本機のマイクブームを回転し、電源を切ります。

**2** [S] ボタンと [T] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑に交互点灯します。



**3** 電源表示灯が赤と緑の交互点灯している間に通話ボタン（[T] ボタンあるいは[P] ボタン）を押します。

#### レーンAへの設定解除

- [T] ボタンを押すとレーンAのマネージャーモードを解除します。レーン表示灯は橙に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module A」と音声が聞こえきます。

#### レーンBへの設定解除（WX-CC412Aの場合のみ）

- [P] ボタンを押すとレーンBのマネージャーモードを解除します。レーン表示灯は緑に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module B」と音声が聞こえきます。

**4** マネージャーモードが解除されたら、通常の状態になり、電源表示灯は緑に点灯します。

- マネージャーモードの解除に失敗した場合は、イヤホンからビープ音と「Failed」の音声が聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態を知らせます。この場合は、再度手順1からやり直してください。

## ■ オートトクロック設定

オートトクロック機能とは、顧客の車がオーダーポストに到着すると子機が自動的にトーク状態になり、顧客の車がオーダーポストから離れると自動的に通話が終了する機能です。

1つのレーンに1台の子機をオートトクロック設定できます。

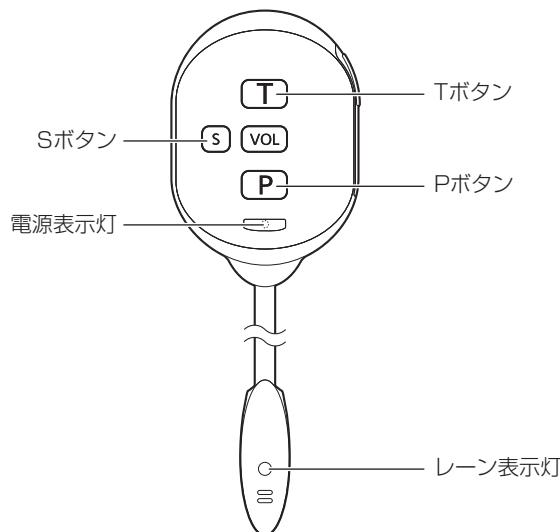
### メモ

- オートトクロックの設定を行うには、ID登録が終了している必要があります。

1 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

2 [S] ボタンと [P] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 電源が起動すると、イヤホンから「Hello」「Headset\*\*」(\*\*はセンター モジュールに登録されたID番号)「Lane (レーン) ○」(○は接続しているレーン名)と音声が聞こえます。



- 3** 電源表示灯が緑／赤に交互点灯している3秒以内に、通話ボタン（[T] ボタンあるいは [P] ボタン）を押します。

#### レーンAへの設定

- [T] ボタンを押すとレーンAへのオートトーカロック設定を行います。レーン表示灯は橙に点滅します。登録が完了すると、イヤホンから「Auto Talk Lock ON」と聞こえ、電源表示灯の交互点灯は終了します。
- 本機起動後3秒以内に [T] ボタンが押されなかったら、イヤホンから「Auto Talk Lock OFF」と聞こえ、通常子機として起動します。

#### レーンBへの設定（WX-CC412Aの場合のみ）

- [P] ボタンを押すとレーンBへのオートトーカロック設定を行います。レーン表示灯は緑に点滅します。登録が完了すると、イヤホンから「Auto Talk Lock ON」と聞こえ、電源表示灯の交互点灯は終了します。
- 本機起動後3秒以内に [P] ボタンが押されなかったら、イヤホンから「Auto Talk Lock OFF」と聞こえ、通常子機として起動します。
- オートトーカロック登録に失敗すると、イヤホンからビープ音と「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態になります。この場合は、再度手順1からやり直してください。

#### メモ

- オートトーカロック設定は、電源が切れると、その設定も解除されます。この機能を使用する場合は、必ず電源起動時にオートトーカロック設定を実行してください。マネージャーモードと併用する場合はマネージャーモード設定を行った後にオートトーカロック設定を行ってください。
- オートトーカロック機能が有効な子機はトーカボタンの設定にかかわらず、トーカロック設定で動作します。
- オートトーカロックの設定は、1 レーンあたり 1 台の子機しか許可されません。2 台目を設定した場合、1 台目の子機は、強制的にオートトーカロック設定が解除されます。

## ■ 親機サーチ

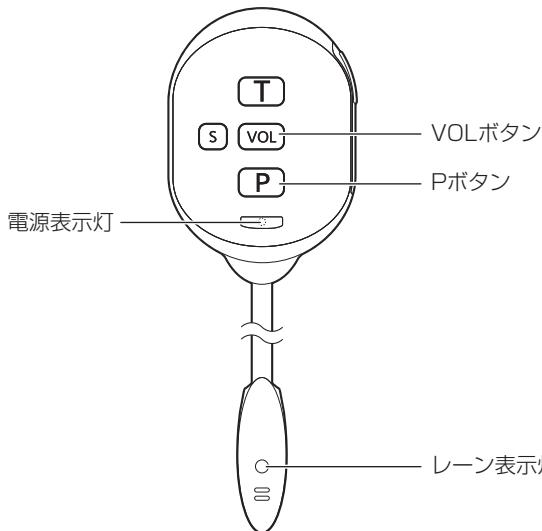
ID登録済みのセンター モジュールから接続可能なセンター モジュールをサーチします。接続可能なセンター モジュールが見つかればそのセンター モジュールに接続します。

- この機能を使用するためには、あらかじめ複数のセンター モジュールにID登録しておく必要があります。

**1** マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。

**2** [P] ボタンと [VOL] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯が速く橙点滅します。



**3** 接続できるセンター モジュールを見つけたら、電源表示灯が赤／緑の交互点灯をし、レーン表示灯がゆっくり橙点滅します。

- 5秒後、自動的に再起動し、サーチしたセンター モジュールに接続します。

### メモ

- 1台の子機につき、30台のセンター モジュールにID登録することができます。31台目以降は最も長い間接続していないセンター モジュールから順番に上書きしていきます。
- 本機のIDが登録されていないセンター モジュールの場合、イヤホンから「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅します。

## ■ 設定モード

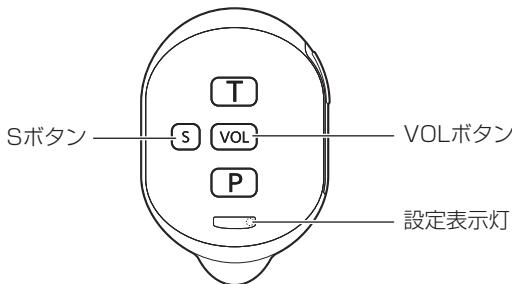
本機の動作設定を行うことができます。設定モードでは以下の設定を行うことができます。

※ 設定ソフトをインストールしたパソコン（PC）を本機と接続して設定することもできます。詳しくは設定ソフトの取扱説明書をお読みください。設定ソフトの入手は販売店にお問い合わせください。

項目	説明
トークボタン設定	トークボタンを押したときのトーク動作について設定します。
ページボタン設定	ページボタンを押したときのページ動作について設定します。
ボイスプロンプト設定	ボイスプロンプトとは、イヤホンから聞こえてくる、本機の状態をユーザーに知らせる音声情報です。ボイスプロンプトで鳴動する音声の設定を切り替えます。
クイックレーン切り替え設定	[S]ボタンを1回クリックするとレーン切り替えとトーク開始を同時に使う機能の設定を切り替えます。
初期化	本機を出荷時の状態に初期化します。
マイクゲイン設定	通話時（トークあるいはページ）のマイク音量を設定します。
トークバック設定	トークバックは通話時（トークあるいはページ）に自身のマイク音声を本機のイヤホンへ出力する機能です。

## ■ 設定モード起動

- 1 マイクブームを回転し、本機の電源を切ります。
- 2 [S] ボタンと [VOL] ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。
  - 本機が設定モードで起動し、ビープ音が鳴動します。また、設定表示灯が点滅します。



- 3 [VOL] ボタンを押して設定項目を切り替えます。
  - 設定モードでは設定項目に応じて設定表示灯が下記のとおりに点滅します。設定モード起動時は「トークボタン設定」が選択されています。

#### 4 各項目の設定を行います。

- 以下の操作で選択中の項目を設定します。

## ■ トークボタン設定（1回点滅）

トークボタンを押したときのトーク動作について設定します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	トークロック*	[T] ボタンを1度押すと、接続しているレー ンのオーダーポストにいる顧客と通話がで き、再度 [T] ボタンを押すと、通話を終了 します。
[P] ボタンを押す	PTT	[T] ボタンを押している間、接続している レーのオーダーポストにいる顧客と通話が できます。

※は出荷時設定

## ■ ページボタン設定 (2回連続点滅)

ページボタンを押したときのページ動作について設定します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	ページロック*	[P] ボタンを1度押すと、接続しているレーンの従業員と通話ができ、再度 [P] ボタンを押すと、通話を終了します。
[P] ボタンを押す	PTP	[P] ボタンを押している間、接続しているレーンの従業員と通話ができます。

\*は出荷時設定

## ■ ボイスプロンプト設定 (3回連続点滅)

ボイスプロンプトで鳴動する音声の設定を切り替えます。

ボイスプロンプトは「英語」または「ボイスプロンプトなし」から選択できます。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	英語*	ボイスプロンプトを英語で鳴動します。 設定時には「Hello」と鳴動します。
[P] ボタンを押す	ボイスプロンプトなし	ボイスプロンプトは鳴動しません。 設定時には何も鳴動しません。

\*は出荷時設定

## ■ クイックレーン切り替え設定 (4回連続点滅)

クイックレーン切り替え機能を設定します。

[S]ボタンを1回押すことでレーンの切り替えとトーク開始を同時に使うことができる機能です。

操作	設定	動作説明
[T]ボタンを押す	ON	[S]ボタンを1回押すと、レーンの切り替えとトーク開始を同時に行います。
[P]ボタンを押す	OFF*	[S]ボタンを1回押しても、レーンの切り替えやトーク開始を行いません。

\*は出荷時設定

### メモ

- 本機をプレストゥトーク (PTT) モードに設定している場合、本設定をONにして [S] ボタンを1回押すと、レーンの切り替えは行いますがトーク開始は行いません。
- センターモジュールがデュアルレーン対応モデル (WX-CC412A) ではない場合、本設定をONにしていて [S] ボタンを1回押してもレーンの切り替えやトークの開始を行いません。

## ■ 初期化（6回連続点滅）

本機を出荷時の状態に初期化します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタン長押し	—	設定初期化を実行し、本機を再起動します。

### 重要

- 初期化を実行すると ID 登録情報も削除されます。

## ■ マイクゲイン設定（8回連続点滅）

通話時（トークあるいはページ）のマイク音量を設定します。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	+6 dB	本機のマイク音量を出荷時の音量から6 dB 上げます。
[P] ボタンを押す	OFF*	本機のマイク音量を出荷時の音量に設定します。

\*は出荷時設定

## ■ トークバック設定（9回連続点滅）

トークバックは通話時（トークあるいはページ）に自身のマイク音声を本機のイヤホンへ出力する機能です。

操作	設定	動作説明
[T] ボタンを押す	ON*	通話者自身のマイク音声を本機のイヤホンに 出力します。
[P] ボタンを押す	OFF	通話者自身のマイク音声を本機のイヤホンに 出力しません。

\*は出荷時設定

### メモ

- 複数の設定項目を連続して設定することができます。
- 設定は電源の切／入で本機に反映されます。

# お手入れ

## お手入れは

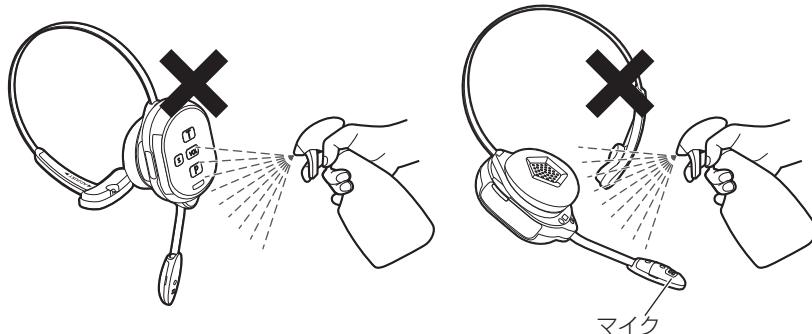
- 充電池を取り外してから行ってください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 製品表面の汚れがひどいときは

- 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にしみこませ、固くしぼってから軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

### 重要

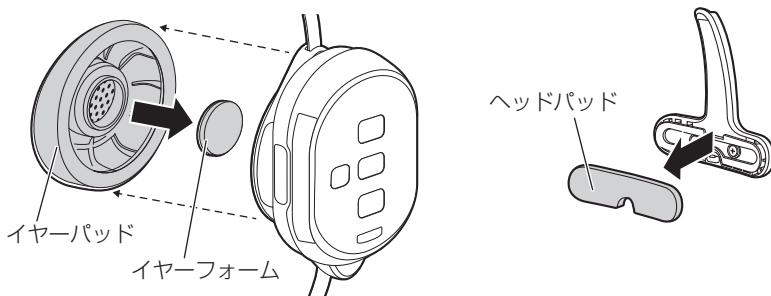
- アルコール、消毒剤、洗剤などをスプレーしないでください。また、マイクを指や布で押して拭かないでください。製品が故障する原因となります。



## お手入れ

### イヤーパッド（イヤーフォーム）、ヘッドパッドのお手入れ

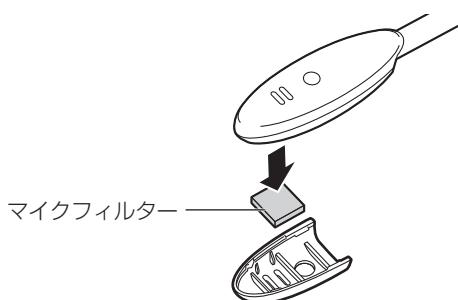
本機からイヤーパッド（イヤーフォーム）、ヘッドパッドを取り外し、水で薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいて自然乾燥させてからご使用ください。イヤーパッド（イヤーフォーム）、ヘッドパッドは使用状況により劣化するため、定期的に交換することをおすすめします。交換は販売店に依頼してください。



### マイクフィルターの交換

マイク部のマイクフィルターは使用状況により劣化するため、定期的に交換することをおすすめします。

交換は販売店に依頼してください。



# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源表示灯が赤色点滅している。	● 本機のIDがセンターモジュールに未登録で無線接続できない状態です。 → ID登録をしてください。	P.12、26
電源表示灯が赤色に点灯している。	● 充電池容量が少なくなっています。 → 充電済みの充電池に交換してください。	P.12、14
電源が入らない。	● 充電池の残量がないか、充電池が正しく挿入されていません。 → 充電済みの充電池と交換してください。 充電池を正しく挿入してください。	P.14
	●マイクブームが「切」の位置にありませんか。 →マイクブームを回して、電源を「入」にしてください。	P.17
他の従業員や顧客と通話ができない。	●センターモジュールの電源が切れています。 →センターモジュールの電源を入れてください。現象が継続する場合は、販売店へご連絡ください。	センター モジュール の取扱 説明書
	●本機のIDがセンターモジュールに登録されていません。 → ID登録をしてください。	P.26
	●[S]と[P]ボタンまたは[S]と[T]ボタンが同時に押されて、拡張機能が動作している可能性があります。 →本機の電源を入れ直してください。	P.17、23
他の従業員との通話はできるが、顧客との通話ができない。	●車両感知器（Vehicle detector）が、センターモジュールに接続されていない、車両感知器に電源が供給されていない、または車両感知器が故障している可能性があります。 →車両感知器に電源が供給され、センターモジュールとも正しく接続されていることを確認してください。現象が継続する場合は、販売店へご連絡ください。	センター モジュール の取扱 説明書

## 故障かな!?

現象	原因・対策	参照ページ
特定の場所で「トーケン」「ページ」ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● その場所には無線電波が届いていません。 → 電波を遮断する金属製の障害物などがないか確認してください。</li></ul>	---
満充電しても使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"><li>● 長年使用することなどで劣化した充電池を入れていませんか? → 劣化した充電池は使用時間が短くなる、電源が入らないなどの現象があらわれます。新しい充電池に交換してください。</li></ul>	---

その他

# 仕様

使用周波数	1895.616 MHz ~ 1902.528 MHz	
電源	単3形ニッケル水素電池×1本 ※ 本機では充電できません。	
電池動作時間 〔周囲温度25℃、新品電池、満充電、動作条件 待機：通話=1:1〕	約9時間（単3形ニッケル水素電池BK-3MCD使用時） 約12時間（単3形ニッケル水素電池BK-3HCD使用時）	
質量	約125 g（電池含まず） 約150 g（単3形ニッケル水素電池BK-3MCD含む） 約155 g（単3形ニッケル水素電池BK-3HCD含む）	
使用周囲温度	0 ℃ ~ +40 ℃	
動作湿度範囲	20 %~90 %（結露なきこと）	
マイク	最大入力レベル	110 dB SPL
イヤホン	出力レベル	96 dB SPL
	最大出力レベル	115 dB SPL以下
	周波数応答	100 Hz~7 kHz ワイドバンド設定時
	出力音量制御	-3 dB ~ +9 dB (3 dBステップ)

# ビープ音一覧

本機で使用しているビープ音一覧です。

分類	内容	ビープ音 <sup>※1</sup>
来客通知	レーンA	ピッ (約2秒周期)
	レーンB	ブブッ (約2秒周期)
システム通知 <sup>※2</sup>	モード変更 (スピードチーム運用開始など)	ブー
メッセージ録音 <sup>※2</sup>	メッセージ録音開始	ツツ
	メッセージ録音終了	ブブッ
	メッセージ録音終了カウントダウン	ツツ ツツ ツツ ピー
通話	通信確立 (トーク開始、ページ開始、アラート通知)	ピッ
	通信終了 (トーク終了、ページ終了)	ブブッ
	圏内通知音 (圏外の状態から、センターモジュールと通信可能な状態になった場合)	ピピッ
	通信異常 (トークやページができない場合など)	ブブブ
音量調整	音量変更	ピッ
	音量変更 (上限)	ピピッ
その他	異常発生	ブー
	充電池残量警告	ブー (約5秒周期)
設定モード	設定モード開始	ピッピッピッピッピッ
	設定確定	ピッ

※1 同じ表現でも、ビープ音の音程や速さが異なる場合があります。

※2 機能の詳細は、センターモジュールの取扱説明書（設置編、設定編）をお読みください。

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

## ■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは  
「故障かな!?」(39ページ)  
でご確認のあと、直らないと  
ときは、まず電源を切って、  
お買い上げ日と右の内容を  
ご連絡ください。

●製品名 オールインワンヘッドセット

●品 番 WX-CH458

●故障の状況 できるだけ具体的に

## ●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、以下の部品については消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

イヤーパッド、ヘッドパッド、イヤーフォーム、マイクフィルター

## ●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

## アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

- 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。
- その他ご不明な点は下記へご相談ください。

#### システムお客様ご相談センター

電話 フリー ダイヤル  0120-878-410 受付：9時～17時30分  
(土・日・祝日は受付のみ)  
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは  
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/support/cs-contact>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社  
パナソニック  
エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

PUQX1069ZA  
Cv0125-0  
Printed in Vietnam